

## Contents

Message	1
Business Angle	2~3
Information	4

【事務局】 〒101-0051 東京都千代田区神田神保町1-37-4 友田三和ビル3F  
TEL 03-3296-0769 FAX 03-3296-0779 URL <http://www.ajec.com/>

## Message

## ◆協会発足25周年となる今年中に 念願の社団法人化を目指す

十数年来の懸案事項であった協会の法人化に目途がつけました。社団法人の手続きの受け付けがようやく2008年12月から始まります。まだ手続きの方法が決まっていない箇所や、細かい部分で不明の点もありますが、今年末の社団法人化を目指し、申請の準備を進めています。

協会運営の要となる定款については、基本的に現在の定款を生かす方向で進めています。ただ、25年前に定めたものであることから若干の加筆を必要とするところや、法律で決められていることをいくつか付け加えていく必要があります。そのほか法人化準備委員会が皆様から寄せられたアンケート調査などをもとに細部を詰めており、5月に開催予定の総会でご提案する予定です。「協会、ひいては加盟各社が少しでもプラスになるためには」という観点で、ご意見をお聞かせ願えれば幸いです。

なお、5月の総会後に理事3名、監事2名が入れ替わる予定です。新しい役員の人たちと事務的なことを進めていくこととなりますが、会員の皆様には手続き上いろいろなことをお願いすることになると思います。ご協力のほどお願いします。

### ◆会員数を増やし知名度を高める

社団法人の申請と並行して、今期は以下のことに力を入れていきたいと考えています。

1つは、まだ会員になられていな

い編集制作会社の方に積極的に声をかけ、会員を増やしていくことです。新しい会員が増えることにより、新しい意見、新しいエネルギーが加わり、協会の活動が活発化していくことが期待されます。出版社の人々と会っていると、まだ協会の存在を知らない方がたくさんおられます。協会の知名度を上げるためには、活動をより一層活発化することが欠かせません。そのためにも会員会社を増やしていく必要があります。

2つ目は、昨年あたりから経営的に破綻する出版社が多くなってきました。今年もすでにいくつかの会社が行き詰まり、ニュースになっています。それにともない不良債権を抱える会員社も出てきています。こうした事態を防ぐには、各社が与信管理を徹底していくことは当然ですが、会員間で情報交換することも大切です。皆様にはぜひとも、各部会をはじめとする集まりに積極的に参加し、会員相互のつながりを緊密にしてください。互いに顔を見ながら話すことが、精度の高い情報を得るために必要ではないかと思えます。

### ◆若手編集者の教育に力を入れる

3つ目は、引き続き若い方々の教育に力を入れていきたいと考えています。皆様の御協力のおかげで、編集技術講座は3年目も順調にスタートを切ることができそうです。1年目は基礎編、2年目は実践編として



日本編集制作会社協会理事長 細江弘司

セミナーを行いました。今年は応用編として開催します。各出版社の話題の本を編集された担当の方に、その本ができてきたまでの経過を語っていただきます。多くの読者に受け入れられるためには、どのようなことに注意したらいいのか、各講師の方に「私の編集」として話してもらう予定です。若い社員の方だけでなく、ベテランの方にもぜひ参加していただき、日常の仕事のなかで役立てていただきたいと思います。

最後になりますが、現在協会の行事として永年にわたり行われているものが月に1回はあります。各理事が中心になり、皆様のお力添えを得ながら開催していますが、仕事の合間をぬってのボランティア活動ですので、行き渡らないことも多々あるかと思えます。皆様の積極的な参加とご協力をお願いします。

当協会は今年4月に発足から25周年を迎えました。気持ちを新たに、協会発展のために頑張っていく所存です。これからも皆様のご理解、ご協力をお願い申し上げます。

## ◆ 第2期「編集技術講座」終了 次期（応用編）受講生を募集中

2007年4月よりスタートした第2期「編集技術講座」（実践編）が、3月14日に開催された第10回講座をもって全日程を終了しました。最終講義の修了後には日本教育会館の「レストラン喜山」で懇親会を開催。冒頭、全カリキュラムを受講した人に修了証を授与し、編集制作に関する一定の基礎知識が身についたことを協会として認定しました。

当講座は新人・中堅社員の教育の場、親睦・交流の場として2006年4月から開講しています。講師には、出版社のベテラン編集者、ジャーナリスト、デザイナーなどを招き、編集プロダクションの社員が最低限必要とする編集制作の知識や技術の習得を目指しています。

協会では、引き続き第3期「編集技術講座」（応用編）を右記の通り4月24日より開講します。今期はベストセラーを生み出した編集者などをお招きし、多くの読者に受け入れられている本づくりのポイントなどについて、さらに深く学んでいきます。

なお、「編集技術講座」は会員社以外でも受講できます。お申し込みは別紙申込書（チラシ）に必要事項をご記入の上、協会事務局にFAXをお送りください。



### 第3期「編集技術講座 2008」（応用編）の概要

#### ◆ 開講日と講義の内容

- 第1回 4月24日（木） 下村綾子氏（宝島社編集2局）  
「新人がベストセラー作家に！ 映画も上映中  
『チーム・バチスタの栄光』の舞台裏」
- 第2回 5月22日（木） 横田紀彦氏（PHP研究所新書編集部）  
「280万部のベストセラー『女性の品格』はこうして生まれた」
- 第3回 6月19日（木） 河野一郎氏（文藝春秋『スポーツ・グラフィック・ナンバー』編集長）  
「スポーツに、人は何を求めるのか？」

（講師の方の肩書きは2008年3月8日現在のものです）

#### 以下講師未定

- 第4回 7月24日（木） 「効率、能力、実力……売れるビジネス書の鉄則」
- 第5回 9月18日（木） 「今だからこの人に。語らせる技術」
- 第6回 10月23日（木） 「“うま味”を伝える料理書づくり」
- 第7回 11月20日（木） 「売り続け売り伸ばす書籍・雑誌の秘密」  
※拡大編集セミナーと合同開催
- 第8回 12月18日（木） 「日常の楽しみ方をわかりやすく、実用的に」
- 第9回 2月19日（木） 「ラックから即日なくなるフリーペーパーの作り方」
- 第10回 3月26日（木） 「イメージをアップさせる企業出版」

- ◆ 会 場：日本教育会館（東京・一ツ橋）
- ◆ 時 間：午後6時30分より約2時間
- ◆ 受講費：年間1人20,000円（非会員は30,000円）  
スポット受講は1回3,000円（非会員も同一）

（講義内容などは都合により変更となる場合があります）

## Admission

### 新入会員社紹介

〔正〕は正会員、〔賛〕は賛助会員、〔準〕は準会員

#### 正 株式会社 ぷれす

住 所 〒162-0801 東京都新宿区山吹町337 都住創ビル5F & 6F  
TEL. (03) 3260-0841 FAX. (03) 3260-0842  
URL <http://www.press-jp.com/>  
代表者 代表取締役 中嶋文夫 設 立 1979年12月16日  
取引先 出版社（講談社、新潮社、小学館、ベネッセコーポレーション、フレール館）／新聞社（毎日新聞社）／TV局（NHK、テレビ朝日）／教科書会社（帝国書院）／官公庁（厚生労働省）／企業（ドクターシーラボ）他  
特 徴 社歴28年、社員&スタッフ約1,300名のマンパワーに自信があります。職能＝編集・校正・執筆・デザイン・イラスト・撮影・テーブルライト・DTP・他。分野＝ビジネス・健康・文芸・政経・旅・育児・ファッション・他。受注書籍850冊（年間）、受注雑誌53誌（継続）

#### 正 株式会社 創英

住 所（東京事務所）  
〒160-0022 東京都新宿区新宿1-12-1 サンサーラ第三御苑  
TEL. (03) 3341-5676 FAX. (03) 3359-8493  
URL <http://www.soel.co.jp/>  
代表者 代表取締役 山田勝彦 設 立 1976年3月  
取引先 コクヨグループ、ヤンマーグループ、住友ベークライト(株)、システム(株)、パラマウントベッド(株)、他  
特 徴 XML・インデザイン・ワークフロー、データベース・パブリッシングなどの、企業の情報資産を活用する制作体制を強みに、企画原稿から印刷物、デジタルコンテンツまでの全てをトータルに制作。また、市場設計・調査・マーケティングプランの立案・実施も行っています。

## 第2期「編集技術講座」受講者の感想

あらお よしひさ  
荒生 福久 さん

日本教材システム株式会社

私は、年齢の割に編集経験は約10年と浅い方ですので、この連続講座は有益でした。約20年前、私はレコード会社でクラシック&ジャズのCDの制作部門に在籍し、ライナー・ノーツやジャケットの編集は経験していましたが、出版界の編集業務とはだいぶ違うものでした。



今年度で特に印象に残った講座は、昨年4、5月に行われた第1、2回の鷲尾賢也氏の編集者と企画に関するものです。出版界の現状分析からはじまり、企画の立て方や原稿依頼など多岐にわたって氏の豊かな経験が本音で語られました。そのなかで、「編集者はカウンセラーである」「企画が決まったら自分で目次を作成し、著者に見せてしまう」などといったフレーズはこれからの仕事にすぐに役立ちそうなものです。氏は目次ふうのレジュメを用意されたのですが、それに必ずしもこだわらず、いろいろと横道にそれながら（この脱線がおもしろいのですが）、編集者と出版企画について語ります。実に蓋蓄があり、実践的な内容でした。いちばん強く感じたのは、この種の講座は自分のことばで語ってもらえることが、受講者の肥やしになるということで、鷲尾氏はまさにそのお手本だったのではないのでしょうか。

たやま しんいち  
田山 進一 さん

有限会社 スタジオデン

東京の広告代理店で記事広告を作成していたのが、私がこの世界に入ったルーツです。振り返ってみると、きちんと基本を教えてもらう機会は案外少なく、我流で実践しながら学んできた感じです。ですから改めて編集の基本（しかも、一流の編集者や各方面のプロの方々による、体験談を含めた具体的な話）を教えてもらうことは、今さらながらとてもありがたかったです。現在、茨城の地で編集制作の仕事をしていますが、東京と地方の格差は確実にあります。作品のクオリティや、ギャランティ、クリエイターに対するクライアントの意識などがそれにあたりますが、編集技術講座を受講させていただくことで、その解決の糸口が少なからず見つかりました。大いに感謝しています。また、茨城と東京間を、高速バスに揺られている往復の時間は、多忙な日々の中で余裕を失いがちだった私にとって、大切な何かを取り戻せる（ちょっと大げさですか？）オアシス的な時間でした。そういった意味でも、とても素晴らしい時間を過ごせたと思っています。今回学ばせてもらったことを、茨城の地で活かしながら、日々前進できるような仕事を心がけ、精一杯頑張っていきたいと思っています。



とうさかき まさかず  
東 榊 正和 さん

有限会社 木香舎

編集の仕事に就いて数年経ちますが、いまだに分からないことだらけです。そんな疑問を解消するべく、「編集技術講座」を受講しました。講義では、新たな知識やトラブル解決方法などを提示していただき、多くの成果が得られました。鷲尾賢也氏がおっしゃった言葉で印象に残っているものが2つあります。



1つは、「編集者はカメレオンのように変幻自在でなくてはならない」という言葉です。ここで求められるのは「何事にも臨機応変に対応できるフットワークのよさ」のことだと考えます。2つ目は、「人間が好きでなければ編集者は務まらない」という言葉です。人と人とを繋げて新しい可能性を見出してゆく「コーディネーターとしての役割」が求められるのでしょう。

年間の講義を通して、スキルアップはもちろんのこと、自分を見つめなおす良い機会にもなりました。「発想の転換」ができたのです。そして、編集の仕事は、人ありきなのだということを改めて痛感させられました。経験や勘ももちろん必要ですが、何よりも相手に対する感謝の気持ちを忘れずに、日々、心にゆとりを持って精進すること。これがなくては一冊の本に仕上げることができないのでしょうか。

ふじしろ しょうご  
藤代 昌吾 さん

有限会社 双双編集

編集経験の浅い私にとって、日常の仕事のなかで迷うとき、困るとき、「こうしてみよう」と思うことはあっても「こうすればいい」と確信をもって臨むことができることは決して多くありません。編集技術講座は、それを解決するきっかけを与えてくれたように思います。



多彩な講師の方々による、実例を交えた講義の中で「あのとき、こうすればよかったのか」「次はこんなやり方を試してみよう」と思うことが多々ありました。多くの実例に触れることで、実践に則した知識を学ぶことができたおかげだと思います。

また、原稿やデザイン・レイアウトから紙・印刷などに至るまで、編集という仕事を、全10回の講座を通じ体系的に学ぶことができたことも大きなメリットでした。

私のように経験の浅い編集者にとって、自身の仕事・能力について省みる良い機会ではないかと思っています。

ありがとうございました。

## 忘年会

12  
12

去る12月12日（水）18時30分より、東京・駿河台の山の上ホテル別館レストラン「アビアントー」で2007年の忘年会が開催されました。当日は会員のほか、例会などで講師を務めていただいている税理士の今村正先生、社会保険労務士の中村俊之先生なども出席。参加者は60名を超え、かつてない盛大なパーティとなりました。



## 一般書・企業出版部会

1  
18

2008年最初の行事となる一般書・企業出版の合同部会が、1月18日（金）午後6時30分より東京・四谷の「出島厨房」で開催され、19名が参加しました。当日は協会顧問弁護士の桑野雄一郎先生（骨董通り法律事務所）をゲストに招き、契約書の雛形作り、発注側とのトラブルの事例やその対策などについて、幅広く意見交換が行われました。



## 教材・デジタル部会

2  
15

教材部会とデジタル部会の合同部会が、2月15日（金）午後6時30分より東京・神田錦町の「ふくるる」で開催され、18名が参加しました。当日は、新学社の元編集部長で、現在は株式会社好学出版の常務取締役である小倉弘行氏に参加していただき、「教材の仕事はこれからどう動くか」について活発な議論が交わされました。



## 編集技術講座

1 2 3  
25 22 14

第Ⅱ期「編集技術講座」（実践編）の第8回講座が、1月25日（金）18時30分より東京・一ツ橋の日本教育会館で開催され、39名が出席しました。当日は日本紙パルプ商事（株）マーケティングチーム課長の小原直孝氏と有馬健氏が講師を務め、「紙の知識」について講義しました。

また、2月22日（金）には第9回講座が開催され、（株）クリエイティブ・センター企画推進部長の青木利明氏が、「印刷の知識と最新技術、製本の種類」と題して講義。42名が出席しました。



第8回講師の小原直孝氏



第9回講師の青木利明氏

さらに3月14日（金）には、今期「編集技術講座」の最終回となる第10回講座が開催されました。講師は当協会の顧問弁護士である骨董通り法律相談所の桑野雄一郎先生が務め、「出版と法律」について講義しました。講座の後には日本



教育会館にある「レストラン喜山」で懇親会を開催。冒頭、全カリキュラムを受講した人に修了証を授与しました。

なお、第Ⅲ期「編集技術講座」（応用編）は、4月24日（木）より年10回にわたって開講します（2ページ参照）。

## 役員選挙の結果

現理事・監事の任期満了にともない次期役員の選出を行ったところ、右の通り新任役員が内定しました。役員は5月27日（火）に開催する通常総会において承認を受け、正式に就任となります。

なお、選挙は2月6日に立候補の受付を開始し、2月22日に締め切りました。その結果、立候補者が定員と同数であったため信任投票を実施し、3月6日までに投函された投票（投票率70.4%）を監事立ち会いのもとで集計。全員が信任されました。

	氏名（敬称略、音順）	会社名
理 事	小檜山 範男	（株）ブレインプール
	鈴木 あきら	（株）オフィス・サンタ
	高雄 宏政	（株）タカオ・アソシエイツ
	中嶋 文夫	（株）ぶれす
	平田 顕	（株）キャデック
監 事	細江 弘司	（株）オフィス201
	山本 肇罔	（株）シナップス
	坂井 一之	（株）風讀社
	檜森 雅美	（株）アーク・コミュニケーションズ

## 告知

第26期通常総会を5月27日（火）午後5時から東京・神楽坂の日本出版クラブ会館で開催します。当日は協会創設25周年を記念して、永年会員の表彰式および懇親会を予定していますので、賛助会員、準会員の皆様もぜひご出席ください。

### <通常総会>

- 日時：5月27日（火）17時00分～
- 場所：日本出版クラブ会館

### <懇親会>

- 時間：総会終了後（18時00分予定）
- 場所：日本出版クラブ会館